

令和元年 12 月 13 日

一関市長 勝 部 修 様

一関市議会議長 槻 山 隆

令和元年度市民と議員の懇談会に基づく提言について

市議会では、議会基本条例に基づき、「市民と議員の懇談会」を 10 月から 11 月にかけて開催しました。

9 回目となる今回は、一般市民を対象に市内 8 会場、学生を対象に市内の高校、短大 7 校で開催、加えて、新たな試みとして、各常任委員会で関係する団体等を対象に 4 会場で開催し、全体で 19 会場、222 名の参加をいただき、貴重な御意見や提言をいただきました。

懇談会の結果を議会運営委員会を中心に協議し、下記のとおり取りまとめましたので、今後の市政運営に反映していただきたく、提言いたします。

なお、学生及び各常任委員会の懇談結果は、各々の個別の意見であり、懇談内容をそのまま、提言いたします。

記

- 1 NECプラットフォームズ(株)一関事業所跡地の活用策、東西自由通路や商店街活性化など、総合的に検討を行うこと。
- 2 災害時の避難所の場所、情報伝達、ハザードマップの見直し等の検証を行い、安全安心な地域づくりに努力すること。
また、防犯カメラは、犯罪の抑止に効果があることから、その増設に務められたい。
- 3 危険な空き家が増加傾向にあることから、一層の注力をする事。
- 4 高齢化の進展に伴い、医療費の抑制等のため、健康維持増進への施策の拡充強化をすること。
- 5 地球温暖化防止の観点から、資源・エネルギー循環型まちづくり及びバイオマス産業都市構想を推進すること。
- 6 生活道路、河道掘削などの社会資本整備を促進すること。
また、無堤防の解消や内水処理に取り組むこと。
- 7 国や県の所管の道路や河川の社会資本整備を関係機関に強力に要請し、実現すること。
- 8 市道等の整備済の用地の未登記処理を加速度的に促進すること。

- 9 定住の促進のためには、雇用の確保が最重要であり、企業誘致をはじめ、雇用の確保に最大限の注力をする事。
- 10 I L Cの誘致においては、市民の不安の声に、真摯かつ丁寧な説明を行う事。
- 11 道路の案内標識について、外国人への対応を含めて見直しする事。
また、昨年開通した室根バイパスについて、交通安全対策が不備であり、検証のうえ対策を講ずる事。
- 12 公共交通施策の拡充強化を促進し、交通弱者の保護に努める。
- 13 医師や看護師、介護士の確保を強力に進め、地域医療の拡充強化を図る事。
- 14 公共施設総合管理計画は、人口減少や高齢化の進行を踏まえた推進に努める事。
- 15 指定管理となった市民センターが避難所に指定された場合、指定管理者の負担が増加にならない体制を構築する事。
- 16 高齢者世帯の除雪対策を構築する事。
- 17 東山町松川地区の石灰粉塵対策について、生活環境保全の観点から、市の積極的な指導等を行う事。
- 18 テレビ共同受信施設組合のアンテナ動産保険料金の支援制度を創設する事。
- 19 FMあすもについて、市内で唯一の災害対応の情報ツールであり、利活用について検証を行い、安全安心な地域づくりを促進する事。
- 20 保育士の確保を図り、入所希望者が入所できる体制を構築する事。